NIE実践報告

1．タイトル：**新聞記事を活用して、地震の規則性を考えよう。**

2．学校名

長岡市立与板中学校

3．実践者名（代表者名）

細貝卓矢

4．学年

第１学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

理科　３８人

6．単元（本時の学習課題）名

変動する大地 ~激しく活動する大地~

7．目標(狙い)

地震の体験や新聞記事などから、地震の揺れの規則性を見つけ出したり、地震の原因を地球内部の働きと関連づけてとらえたりすることができる。

8．評価の視点

新聞記事等から、地震の規則性や原因をとらえることができたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

第２分野「変動する大地　~　激しく活動する大地~　」（６時間）

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

①過去の経験を基に地震の揺れの特徴をみつける。(１時間)
②地震の揺れの伝わり方を理解するために、震度の分布・震度とマグニチュードの違いを学習する。(１時間)
③地震の揺れの伝わり方を理解するために、初期微動と主要動について学習する。（１時間）
④地震について学習を深めるために、資料の読み取りと分析を行う。(１時間)
⑤震災の様子や対策について学習する。（1時間）
⑥単元全体のまとめと演習問題を行う。（1時間）
（留意点）
・地震について過去の体験を振り返り、興味関心をもたせる。
・地震の揺れの大きさやエネルギーについて理解を深め、資料から特徴や規則性についてつかませる。
・新聞記事から分かることや、自分の考えを発表させるなど、班の話し合い活動を充実させる。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

地震の新聞記事を活用したことにより、興味・関心や追求意欲が高まった。「強い地震があったところから、遠くにだんだん揺れが広がっていることが分かった。与板よりも揺れた地域の人たちがどうなったのか心配になった。」などの感想が出された。

12．成果と課題

新聞を通して地震の記憶を思い出し、興味をもって学習に取り組むことができた。被害の大きさの写真や、各地の震度を地図に整理することで、視覚的に震度の規則性をとらえることができた。学習指導要領にある「地震の記録を基に、揺れの大きさの規則性に気づく」という活動をする上で、生徒の身近な資料として新聞はとても有効であるということがわかった。新聞記事の読み取りや作業の時間、情報を整理した資料を基に考察する時間の確保が課題である。